

実験工房 MARANTZ PM-17ASAVer2に第2世代電源搭載

第2世代シリーズ電源モジュール、BC80A22HVer、BC24A22HVer、を使い、プリ、メインAMPの電源流を改造、21世紀の最新テクノロジーで、世界でただ一つ、倍音再生（自然界の音）の可能なパワーAMPに変身させる実験。

AES 東京コンベンション2005で技術発表した第2世代シリーズ電源モジュールを使いMARANTZ,中級機の電源部を載せかえただけで、欠落していた音声信号すべて再生され、CDをヘッドフォンで聴いたときの音そのままSPから再生できる。

MARANTZ 中級機 PM-17ASAVer2 改造記

このAMPは2005年、現在発売中のもので評価は中程度最初の印象は少し高域がキンキンもう少ししっとり感が欲しい感じ、トランスはトロイダルのものでしっかりしたものを採用、端子なども高価な物が付いています、本体の厚さが薄く、使いかっても良さそう音の素性さえ気に入ればの感じ、電源には20AのSBDが搭載され、音の解像度は良いが電源回路で音声信号の欠落が音の不自然さにつながっていると判断、毎サイクル約950 μ s、欠落（時間軸で言うと650 μ sの立ち上がり遅れ）が存在するため、これを改善し100%の音声信号を再生することで自然なバランスになると判断。第2世代シリーズ電源を搭載しての実験を行う。

作業内容

プリアンプ部整流回路を第2世代シリーズ電源モジュールBC24A22HVer、に置き換えC：50V 1,000 μ F \times 3を使い完璧なDC電流を供給、メインアンプ部整流回路は第2世代シリーズ電源モジュールBC80A22HVer、C：55V 12,000 μ F \times 2個追加

試聴

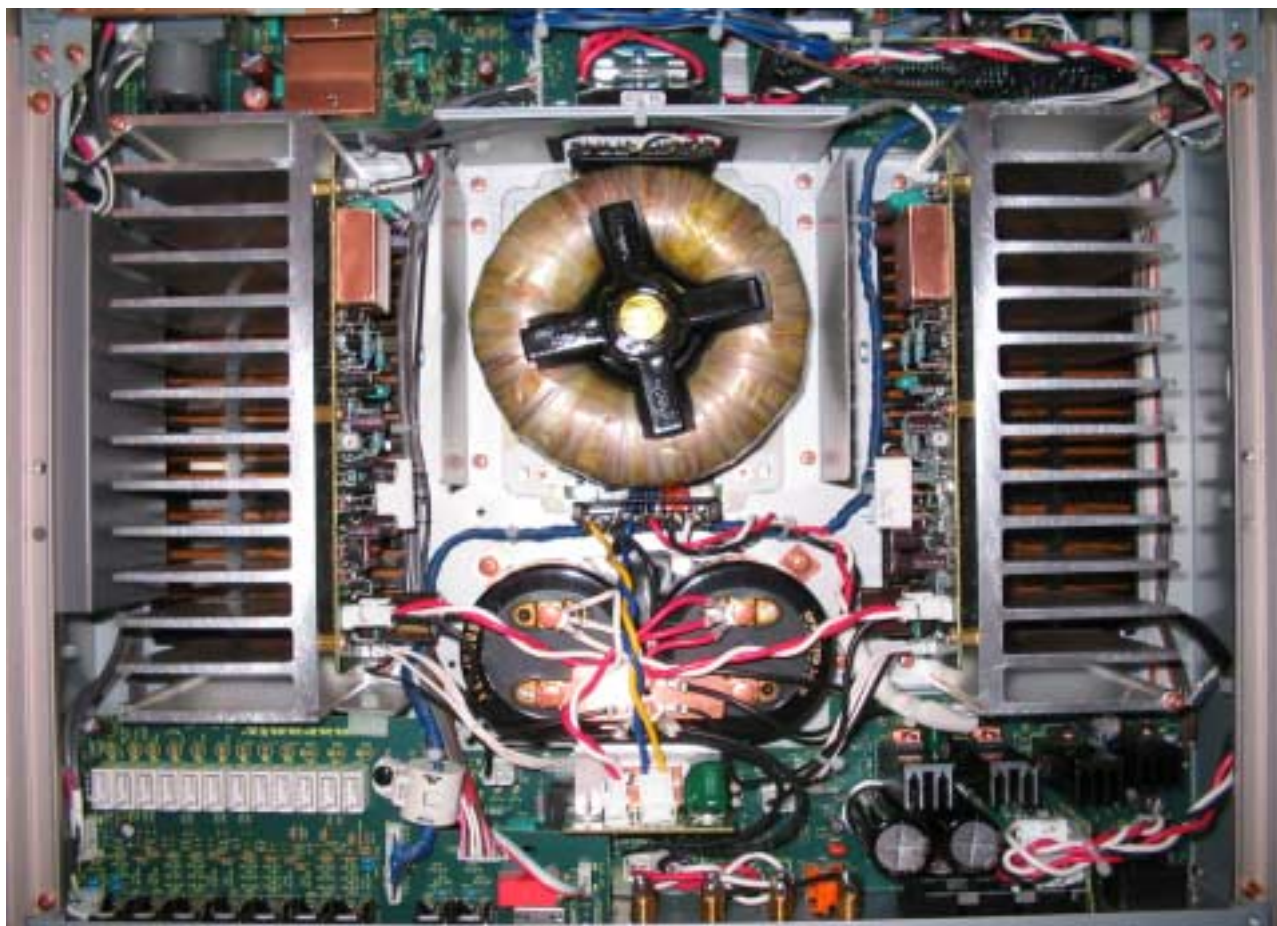
聴きたくて聴きたくて、すぐにSWオン音が出たとたん予想道理ビロードのような滑らかで吸い込まれる音色、高域のキンキンしたところはなくなり、情報量が多く、低域がしまり、高域の透明感1ランクも2ランクも上がった感じ、何百万のAMPに負けない音、音は実験工房の山水の名機AU-X11、売り出し時¥27.5万に第2世代シリーズ電源にした音と区別が出来ない音になっている、第2世代シリーズ電源に改造すると高額AMPも中級機も差がなくなる。

改造費用

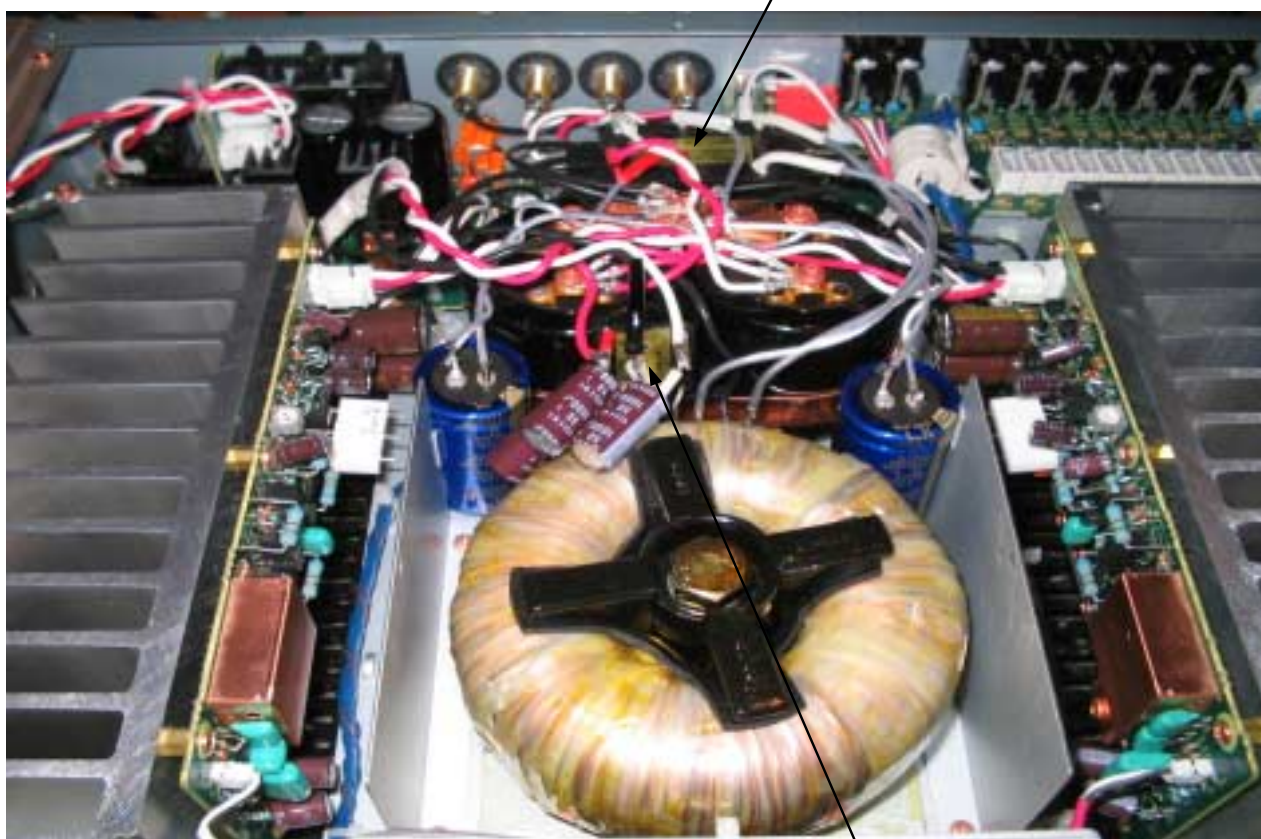
BC80A22HVer	、	22,000-
BC24A22HVer	、	12,000-
C：50V 1,000 μ F \times 3		1,500-
C：55V 12,000 μ F \times 2		2,400-
改造費		10,000-
改造引き受けます。	計	47,900-

A & R Lab 代表 出川三郎
 住所 〒257-0001 秦野市鶴巻北3-10-23
 TEL、FAX 0463-76-9606
 携帯 090-3918-3581
 mail : sdegawa@mvd.biglobe.ne.jp

MARNNTZ PM-17SAVer2 改造前



MARNNTZ PM-17SAVer2 改造後



メイン部 BC80A22HVer

プリ部 BC24A22HVer2

